



第1054号
2007年10月28日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代祷・信施奉献先
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(第3主日)▽社会事業の日(28日)

《奉献先から》
社会事業の日

1977年の日本聖公会総会で社会事業の日を制定することが決議された。当時は福音書「よきサマリヤ人のたとえ」を用いる主日をこの日と定めたが、祈祷書改訂後、幾度かの審議を経て現在は特定25の特祷を用いる主日が「社会事業の日」として守られ、加

と奉献が呼びかけられている。今年、草津聖バルナバミッション「コンウォール・リー女史資料室」の整備継続、社会福祉法人「エリザベスサンダースホーム」本館・児童寮改善事業、社会福祉法人「ろばの会」(銚子市)聖母保育園園舎内外整備改修のためにさげられる。

▽小平霊園で送迎バス 小平墓地礼拝(11月2日・金)当日、霊園入口く教区墓地区間に小型バスを運行。9時半〜10時半頃、礼拝終了後13時。ご利用を。
▽聖路加国際病院礼拝堂オルガンコンサート&夕の祈り 11月7日(水) 18時半、19時からそれぞれ。演奏者は岩崎真実子。入場無料(会場献金)。

今週・来週の予定
10月28日~11月10日

- 28(日) 聖霊降臨後第22主日
主教巡回
小金井聖公会
- 30(火) 教役者会
- 31(水) 主事会議
- 11月
- 1(木) 墓地礼拝
- 2(金) 墓地礼拝
教区企画室
- 3(土) HP技術者養成講座
- 4(日) 聖霊降臨後第23主日
主教巡回
東京諸聖徒教会
- 6(火) 教財務サービス委員会
- 8(木) 正平協運営委員会
人権委員会
(聖バルナバ)
- 9(金) エ教区協働委員会
広報委員会
- 10(土) エ教区ボランティア
訪問報告会

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

幼い頃、私は山陰の小さな聖公会の日曜学校に通っていた。毎主日、身振り手振り、時には寸劇入りでイエスさまのことを熱心に語るキヤソック姿の司祭の様に、「どうやらイエスさまというのは、すごいひとのようだ」と思っていた。

はおじさんしか見えなかった。さて、仲間と共に、月に一度、渋谷の駐車場に寝泊りする人たちに食事を持って行くようになって3年が経つ。その間、教会に食事を求めてくる人たちも様々な話をするようになった。徐々に、深まる交わりの中で、

イエスさまの
おられるところ

その頃、年に何度か商店街で募金活動をしていたが、銀行の前には決まって物乞いをしてはおじさんが座っていた。

榎原民佳

その人たちの深い悲しみを知って堪らなくなったり、人を思いやる情の篤さに触れて目頭が熱くなるものが何

ある日、募金箱を持って立っている私たちの後ろで司祭がつぶやいた。

度も何度もある。そしてその度になぜか私の心は激しくふるえる。

「あの人の横にイエスさまがおんなあて(いらっしやるよ)。イエスさまはそういう人だけな(だからね)。」

40年近くも経って、やっとあの時の司祭のつぶやきが分かるようになった。そこにイエスさまがおられる。今は見える。

驚いてそのおじさんの周りを見てみたが、どれだけ目を凝らしても、私に

(聖パウロ教会信徒)

信仰と生活委員会報告

(9月28日)

* 秋期信徒講座(11月2回)別途の掲示参照)および明年の講座の進捗確認など。

* 08年度活動計画および予算案について協議。

* 次期各教会グループ協議会推薦委員の選出依頼を確認。

* 催事援助金申請を受けている2案件および東京教区「広告」(立教大学メサイヤ・パンフレット)掲載の計3件につき検討。

▽エルサレム教区ボランティア訪問報告会 8月から9月にかけてエ教区協働委員会の呼掛けで実施した、新しい聖地旅行の試みと視聴覚障害児施設ボラ

ンティア活動:、11人の参加者による体験報告会が、11月10日(土)14時~17時、教区会館3階で、聴講無料。照会などは教区事務所・宣教主事宛に。

▽田崎安男主教に感謝 東北教区主教を1993年に定年退職されて以来14年間、東京教区内とくに下町グループ(聖ルカ礼拝堂を除く諸教会)を中心に

は今日28日、月島聖公会での礼拝奉仕を最後に離任される。

▽浅草聖ヨハネ教会で室内楽

コンサート 茨十字教会員を含む地元演奏者による弦楽四重奏を11月3日(土)17時から。ドヴォルジャークの大作「アメリカ」他。入場無料(会場献金)。TEL 03(3851)9521。

信仰と生活委員会主催
【晩秋の信徒講座】

《神様からの賜物を》

11月16日(金)

講師：竹内謙太郎司祭

《悲しむ人と共に苦しむ》

～支え合うコミュニティ

を目指して～

11月30日(金)

講師：鈴木剛子

(グリーン・カウンセラー)

時間：19時～21時

会場：教区会館3F

参加費：各500円

照会：教区宣教主事

【学びと働きから】60

教区資料保全委員会の働き

今年9月の教区フェスティバルで、明治~昭和時代の教会などの古写真約40枚を展示したところ、思いのほか好評であった。手札版の小さな写真を、カラーコピーで四切版に拡大し、それをラミネートしたのだ。このカラーコピーの威力で集合記念写真などは、一人一人の小さな顔があの鮮明な写真に化けるのである。これは委員のM司祭の苦心作である。

委員会はこのほか、歴史資料や図書保存と整理に7人の委員が毎月第2、第4水曜の昼間に、教区事務所に集まり、作業を続けている。教区時報の製本

が進み、閲覧が増えている。今井丞治司祭から譲受した今井家三代資料は、その膨大な目録ができてつある。各教会の建築図面や登記書類などの目録完成も間近かだ。また、各種礼拝、講演会の8ミリフィルム、ビデオテープなどの映像資料や録音テープなどもあり、今の機器ですらでも再生できるようにするのも仕事である。

それにしても、膨大な資料数だ。その働き手が足りず、歴史に関心ある方、図書整理をした方、文書整理をした方、パソコンが使える方:など、ぜひご協力(交通費・昼食費補助あり)くださいと有難い。

委員長 諫山禎一郎
(八王子復活教会)

《今、この教会では…》

小笠原聖ジョージ教会

当教会では先祖からの伝承でお葬式時、信徒一同で十字架と花輪を作る習慣があります。等身大の十字架を家族で担ぐのです。花は早朝に皆が野辺で集めます。主の十字架を、故人を偲び祈りと黙想のうちに作り、花輪は、輪になり共同して一心に飾りつけます。この行為の姿こそ、先祖が伝え証する尊い信仰の遺産と私は思います。

今、教会では若い世代が少ないです。次の世代に向い信仰の伝承を守らねばなりません。十字架の担い手となる若者が一人でも多く教会に導かれ、伝承のよき継承者となりますように祈りに祈り願っています。(矢作春子)